

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園に関する進捗状況について

(仮称) 旧上瀬谷通信施設において、令和2年3月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の会場の基盤ともなる新たな公園の整備を計画しています。

これまで、市民や地権者の皆様のご意見や、本地区で行われる土地区画整理事業及び国際園芸博覧会の会場計画等の進捗などを踏まえて「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)」を取りまとめ、環境影響評価や公民連携の推進などを行ってきました。

令和5年度は、引き続き環境影響評価の手続きや、公民連携の推進に関するサウンディング調査などに取り組むとともに、工事発注に向けた手続きを進め、インフラや植栽等の整備に着手します。

1 旧上瀬谷通信施設の概要

面積：約 242ha (国有地 109.5ha / 市有地 22.7ha / 民有地 110.0ha)

※土地区画整理事業の事業区域は、約 248.5ha

土地利用計画：農業振興、観光・賑わい、物流、公園・防災

【参考】公園整備に関する主な経過

平成 27 年 6 月	旧上瀬谷通信施設の全域が返還
令和 2 年 1 月	環境影響評価計画段階配慮書(公園)の縦覧
令和 2 年 3 月	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画策定
令和 2 年 12 月	(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(素案)とりまとめ 市民意見募集(令和2年12月17日～令和3年1月15日)
令和 3 年 5 月	(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(原案)策定
令和 3 年 7 月	環境影響評価方法書(公園)の縦覧
令和 4 年 6 月	(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)策定
令和 4 年 7 月	公共事業評価委員会(事前評価)
令和 4 年 11 月	公民連携推進に関するサウンディング調査の実施(第1回)
令和 5 年 3 月	環境影響評価準備書(公園)の縦覧

2 公園の概要

公園名称：(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園

所在地：瀬谷区瀬谷町、旭区上川井町

種別：広域公園(予定)

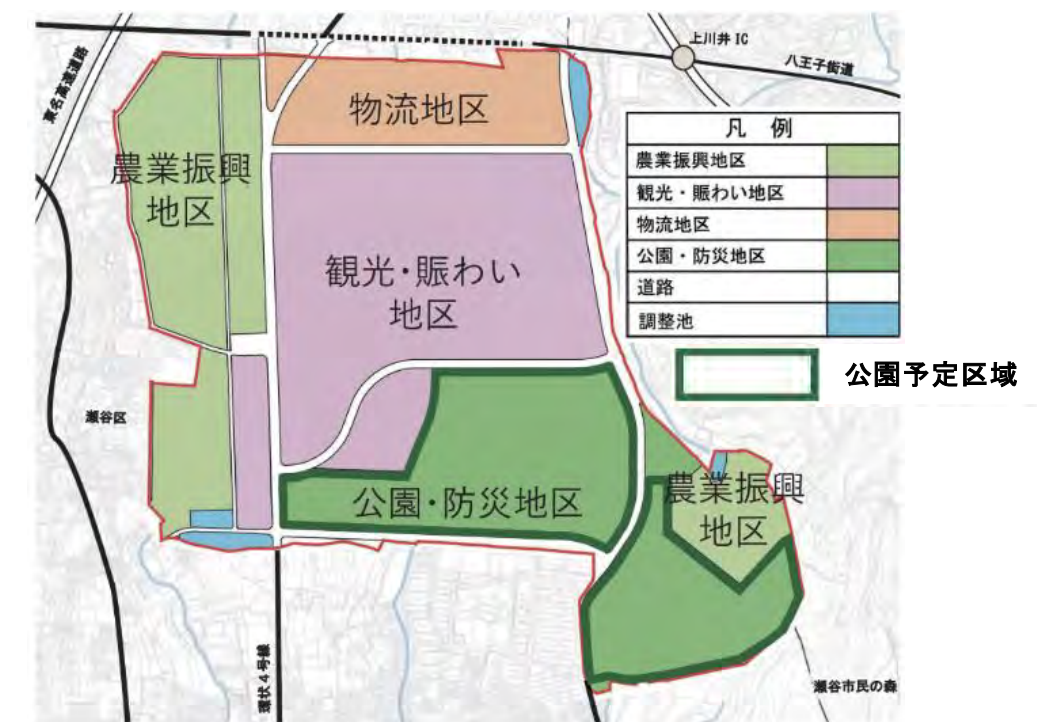
面積：約 65ha

施設内容：運動広場、野球場、多目的広場、サクラ広場(草地広場)

遊具広場、体験農園、森の散策路、パークセンター等

【参考】(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)

別紙のとおり



【図1】土地利用計画図

3 令和5年度の取組

(1) 環境影響評価手続き

令和5年3月から横浜市環境影響評価条例に基づく環境影響評価準備書の縦覧を行い、4月に説明会を開催しました。引き続き、環境影響評価の手続きを進めます。

【参考】環境影響評価準備書の縦覧及び説明会の概要

準備書縦覧：令和5年3月24日(金)から令和5年5月8日(月)まで

説明会：令和5年4月14日(金)、15日(土) 旭公会堂

4月21日(金)、22日(土) 瀬谷公会堂

(2) 公民連携の推進

公園北地区における、公民連携による“自然と共生した賑わいの創出”に向けて、事業者公募に向けた2回目のサウンディング調査等を実施します。

(3) 整備工事

国際園芸博覧会会場の基盤整備として、環境影響評価書を提出した上で、将来の公園計画を踏まえたインフラや植栽等の整備に着手します。

【整備概要】

- ・植栽工（既存樹木の移植、高木の植栽）
- ・設備工（雨水・汚水排水施設、給水設備、電気設備等）



【図2】国際園芸博覧会会場整備の構成

(4) 都市公園を設置すべき区域の決定

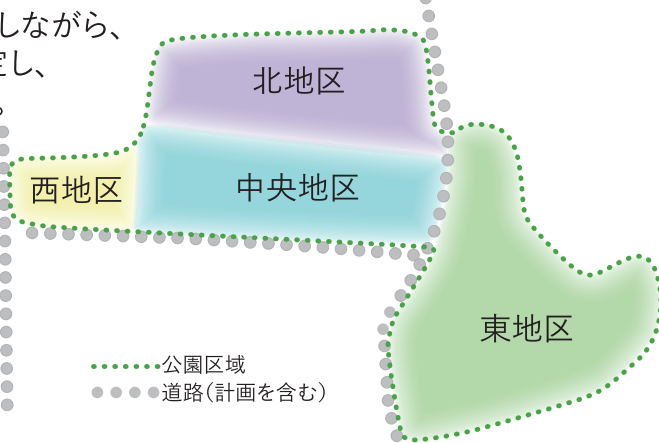
国際園芸博覧会会場の基盤整備等を公園整備事業で行うにあたり、都市公園法に基づく都市公園を設置すべき区域を決定する必要があるため、今後、議案を提出する予定です。

4 今後のスケジュール(予定)

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 令和5年9月 | 都市公園を設置すべき区域の決定 |
| 秋頃以降 | 環境影響評価書 提出 |
| | 整備工事 着手 |
| | 公民連携推進に関するヒアリング・サウンディング調査等の実施 |

4つの地区の特徴

現在の地形などをいかしながら、大きく4つの地区を設定し、施設の整備を行います。



北地区

公民連携を積極的に推進し、自然と共生しながら、賑わいを創出する地区

東地区

自然体験や農体験などを通して、自然と暮らしが調和する持続可能なライフスタイルの発信や自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、森林浴や地域の自然をいかした自然観察や環境学習などを行う地区

中央地区

広大な草地広場をいかしたイベントやレクリエーション活動、憩いの場となるとともに、植物や環境などに関する学びを発信する地区

西地区

スポーツを中心としたレクリエーション活動の場となる地区

主な施設の特徴

地区	施設	内容
西	運動広場	サッカー、少年サッカーなどの有料利用を想定した広場。ナイター利用も想定。
	野球場	硬式野球、少年硬式野球、軟式野球、少年軟式野球、ソフトボールなどの有料利用を想定。ナイター利用も想定。
	多目的広場	地域のスポーツレクリエーションの場として、少年軟式野球、ソフトボールなどの利用を想定。
	スポーツ施設管理棟	更衣室、シャワー、ロッカー、休憩施設などを備えた管理棟。
中央	桜並木	公園のシンボルとなる主園路沿いに配置するソメイヨシノの並木。
	サクラ広場(草地広場)	周囲に桜のある広大な草地広場。地域の祭りやイベントにも活用。災害時には自衛隊などの活動拠点やヘリコプターの発着も可能。
	大花壇	谷戸の地形をいかし、市内産の花苗などを活用した大花壇。
	遊具広場	大型複合遊具や健康器具、身体能力に関係なく、様々な利用者が安心して楽しめる遊具などを設置。
	ドッグラン	犬の大きさに応じた複数の区画や、休憩施設、水飲みなどを設置。
北	パークセンター1(植物・環境体験学習等)	「みどり」とともにある持続可能なライフスタイルをテーマとした様々な展示や情報発信、体験学習等が可能な施設。休憩や飲食の場としても活用。国際園芸博覧会のレガシー継承施設としても検討。
	アウトドア体験施設 飲食・物販施設	自然と共生しながら賑わいを創出する区域として樹林などの新たな緑の創出をしながらアウトドア体験施設や飲食・物販施設などを想定し、公民連携による整備を積極的に実施。
東	体験農園	農体験や収穫体験ができる農園。農体験などを通じた交流や農のコミュニティ形成の場としても活用。
	森の散策路	和泉川の源流や周辺の自然を保全・活用し、隣接する市民の森などと連続した自然の魅力を体感できる散策路。環境教育などのフィールドとしての活用や森の維持管理への参加などを通じた森と緑のコミュニティ形成の場としても活用。
	日本庭園	和泉川の源頭部を保全するとともに、日本の伝統を踏まえた自然との共生を体現する庭園。日本の伝統文化・技術の発信の場。
	パークセンター2(環境活動拠点等)	花や農、福祉、健康、教育などをキーワードに多様な環境活動の支援・展開を行う施設。休憩や飲食の場としても活用。既存部材を活用して再現した日本建築も整備し、伝統文化を継承する場として活用。国際園芸博覧会のレガシー継承施設としても検討。
	園内で展開	国際園芸博覧会に向けてテーマが異なる複数のガーデンや庭園を整備。市民と共に作る球根ミックス花壇など、花と緑を通じた交流やコミュニティ形成の場としても活用。
	ジョギングコース	幅の広い園路を活用し、ジョギングコースを設定。

公園基本計画図

■アウトドア体験施設



■サクラ広場(草地広場)



■ガーデン1



■運動広場



■野球場



■多目的広場



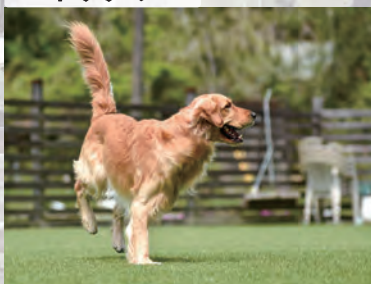
■遊具広場



■桜並木



■ドッグラン



■大花壇



※写真はイメージです。
 ※土地区画整理事業や国際園芸博覧会事業の検討、環境影響評価の手続き、公民連携による事業者の提案などにより、施設内容などが変更になる可能性があります。
 ※本図面に記載のないベンチ、水飲み、トイレ、休憩所などの具体的な施設は、今後、配置を検討していきます。
 ※建築や庭園、ガーデン、広場などは概ねの位置を示すもので、詳細については、引き続き検討していきます。
 ※施設の詳細は、設計を進める中で継続して検討していきます。



■ガーデン4



■市民庭園



■体験農園



■森の散策路



■駐車場

